

住まいと暮らしのデザインブック

住まいnet新潟

WWW.SUMAI-NIIGATA.NET

vol.42

AUTUMN &
WINTER 2026-2027

¥550

DUAL LIFE

特集 デュアルライフ

誌上で完成見学会

新潟の住宅実例集

住まいづくりのアイデアを探して

まなびのかたち

読者プレゼント！

資料請求された方々に多数プレゼントをご用意しております

SUMAIZUKURI
DESIGN
CENTER
SDC
NIIGATA

012 特集 ライフスタイル提案
デュアルライフ～もうひとつの暮らし～

051 誌上で完成見学会
新潟の住宅実例集

- 052 イエライフ／小出建設株式会社
- 058 アットホームラボ／株式会社アオキ住建
- 064 株式会社松尾工務店
- 070 株式会社フラワーホーム
- 076 株式会社アーキトライブ
- 082 株式会社高田建築事務所
- 088 株式会社石田伸一建築事務所
- 094 ダイケンアーキテクト／株式会社大建建設
- 100 オーガニックスタジオ新潟株式会社
- 106 有限会社丸正建設
- 112 キズナハウジング／株式会社小池
- 118 有限会社大恭建興
- 124 roomz 株式会社星野建築事務所
- 130 BANhome／株式会社藤真工業

141 Welcome to Model House
モデルハウスへようこそ

- 142 ディテールホーム／坂井建設株式会社
- 148 和ごころ工房／大栄建設株式会社

157 新潟の冬と夏を快適に
建てるなら雪国型ZEHの住まい

163 **ビルダーリポート**

- 164 Yoshikawa architecture／有限会社吉川建築
- 170 株式会社カタチ創庫
- 172 LOCAL LIFE STANDARD／株式会社池田組
- 174 株式会社瀬賀工務店
- 176 グリーンスタイル／ダイエープロビス株式会社

180 特集 住まいづくりのアイデアを探して
まなびのかたち

215 **ビルダーズモア**

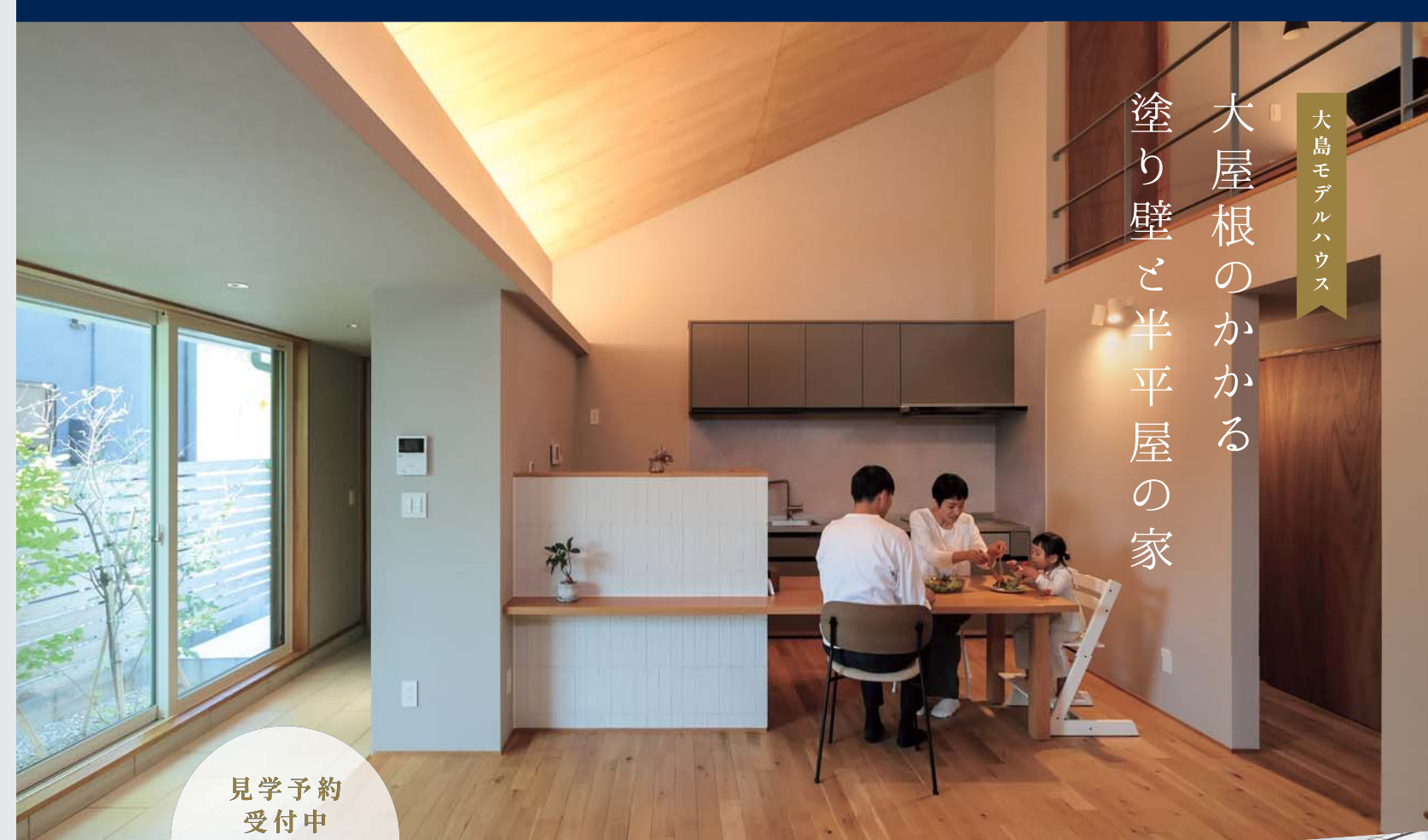
242 **ものの生まれるところへ**
住まいnet新潟読者プレゼント

249 資料請求方法

vol.42
AUTUMN &
WINTER
2026-2027



Cover Story
連続する梁の下に、暮らしがある。
食べる、寝る、くつろぐ。来客の多い
この家では、店舗の上にあたる小上
がりの畳がゲストルーム。店舗と
切り離れた暮らしの空間も、時に
応じてさまざまな人と時間を包ん
でいる。
新潟市西区 K・S邸
Photograph：Noriki Matsuzaki



見学予約
受付中



高い断熱性・気密性を兼ね備えた
次世代型フラッグシップモデル。
凍えるような寒い冬や、熱気がこもる暑い夏でも快適に。

HEAT20・G3 基準

断熱等性能等級7

耐震等級3

完成保証制度

気密性能C値 0.18

断熱性能UA値 0.19

- ☒ 地中熱利用24時間換気システム
- ☒ 将来を見据えた間取り
- ☒ 高品質な大型パネル工法

ユースフルハウスは、家を科学的に検証する
「家学塾」メンバーです。



YOUSEFUL HOUSE

株式会社ユースフルハウス
yousefulhouse.com

新潟中央スタジオ／新潟市中央区網川原1-17-7 フリーダイヤル 0120-315-781
燕三条スタジオ／燕市井土巻3-30(イオン県央隣り) TEL 0256-46-8022



11月上旬
「網川原モデルハウス」
完成予定
詳しくは公式ホームページを
ご覧ください。



資料請求番号



資料請求をしていただいた方先着30名様に
クオ・カード500円分をプレゼント。
※詳細は249ページをご覧ください。

木漏れ日に 季節を探して

木漏れ日にも
季節の移ろいがあります。

春は黄緑。
生まれたての新緑を透過して
光も瑞々しく、明るく軽やか。

秋はブラウン、冬はグレー。
紅葉を含んだ濃い色から、乾いた色へ。
葉が落ちて光の通り道が変わり、
影も空気の色を映します。

「こもれび」という言葉は
英語や欧米の言語では直訳できないとか。
季節や移ろいに心を寄せる
日本人独特の感性を表しているのでしょう。

形のない光、日差しを
影や色を通して、知る。
きれい、と湧き上がった思いから
季節に気づかされる。

見えているもの、その先にあるもの。

探しながら今日も
暮らしをはじめてみませんか。

『住まいnet新潟』編集部一同

SHIMAZUKURI
DESIGN CENTER
SDC
NIIGATA



ADVISER

家づくりの最初の
相談員として、道筋を
示してさしあげたい

アドバイザー 阿部みか

「家、建てようかな。」

思い始めたら、まずは 地元
住まいnet新潟ラウンジへ

住まいnet新潟ラウンジは

家づくりをするあなたのための相談窓口。

新潟に特化した住宅会社の中から、

ぴったりの会社をご紹介します。

家を建てることに決めたものの、何から始めていいかわからなかったと振り返るU夫妻。ご主人は「住宅ローンを含めてどんな順序で進めるもの?」「奥さまは「土地も」一緒に頼めるものなのか?」知りたかったと話す。そんな二人が訪れたのが、インテリアショップS・H・S鳥屋野店にある「住まいNET新潟ラウンジ」。雑誌「住まいNET新潟」を読んでいた奥さまがまず存在を知り、SNSでも情報が流れてきたことからアポイントを入れたという。家のイメージを伝えると、地元のビルダー3社を紹介されたが、どこもピンと来なかったという。一方、U夫妻には気になっていた会社があった。雑誌「住まいNET新潟」で見た家が印象的だったからだ。ただ拠点が高岡で、果たして新潟で家を建てているのか分らず、直接連絡を取ることにした。

今回の面談で「任せられる人に会えた」という手応えを感じたU夫妻。その後、依頼を決め、念願の家を建てた。家族で暮らして2年、「何から始めていいか、分からない人はもちろんいろいろな会社を比べて考えたい人におすすめしたい」と口を揃える。そしてラウンジというワンクッションが、初対面の不安や、仮に断る時などの心配を減らしてくれたとも言った。「お二人のイメージどおりの家ができて、こちらもうれしい」とアドバイザーの阿部さん。「家づくりの最初の相談員として、これからも道筋をつくっていききたい」と話した。

住まいnet新潟
LOUNGE

CLIENT

何から始めていいかわからなかった私たちに、
順を追って示してくれた

相談者 新潟市西区 Uさんご家族





渡辺邸の職場は合板の箱の中。シューズクロークを挟んで、
玄関ホールの前にある。暮らしと仕事が続く象徴的な場面

DUAL LIFE

特集 デュアルライフ

～もうひとつの暮らし～

もうひとつの居場所を求める人が増えてきた。
コロナ禍でリモートワークが加速し、
「家ってなんだろう」「ここに住むって？」と
改めて、考え直したからだろう。
二拠点暮らし、別荘、仕事場や店舗を兼ねた住まい。
そこには、場所やモノ、既成に捉われない
自由で軽やかな思想と暮らしが見えた。

撮影 松崎典樹

吹き抜ける風の中
緑に沈む別荘。
仕事と暮らしの間に

長野県軽井沢町 F 山荘

風と緑の中に、軽やかな建物。

タープのような屋根の下、土間と部屋が
仕切り淡く連なる。

外は内で、内は外。

外と内が溶け合うように

仕事と暮らしが隣り合う時間をここで。

自然の森と植栽の緑の中に、ギザギザ屋根が二列に重なる。細長い中庭を囲んで、一枚の屋根がガレージや土間、キッチン棟や居室をつなぐ。内部空間が 25 坪。半屋外空間の土間が 25 坪と面積の比率も半々

DUAL⇄LIFE 4



右頁／キッチン棟から外を見る。掃き出し窓を開け放てば、屋根のある屋外キッチンに。正面には中庭と入り口 左頁・上右／キッチン棟から土間を見ると、その先には部屋。内、外、内が連続している。土間には自然のモミジが枝を伸ばしている 上左／6年前の完成時には小さかった木々が大きくなり、建物に影を落としている 下／壁がほぼガラスとなっているキッチン棟は、背景の森と中庭に囲まれている。奥にはソファを置いてリビングとしての機能も

DUAL LIFE

かと言えば「外」を設計した」と聞いてなるほど。外の気持ちよさを最大限にすべく、心地いい場所がもっとも天井高になっている。かくしてギザギザ屋根のてっぺんは半屋外の場所に。「壁の建築ではなく屋根の建築。もつといえば、天井の建築」。あらわしになった天井には、コストを抑えるために採用されたツーバイテンの木材が何本も走り、それが意匠にもなっている。

例えば10年前なら、ちょっと変わった別荘と見たかもしれない。しかしコロナ禍を経てリモートワークが加速し、自由な働き方、自由な暮らし方が定着した今だからこそ、外と内の溶け合う形が、すっと腑に落ちる。非日常が日常に、暮らしの中に仕事、仕事の中に暮らし。境界が消えゆけば、猫のように気持ちのいいところに赴くだけ。今日は木漏れ日のソファか。

屋根はタープのように
境界はテントのように。
一枚の屋根でつながる
外と内

キャンプ場のような場所をつくってほしい、そんなオーダーから始まった設計だった。複数案から選ばれたのは、屋内空間と屋外空間を一枚の屋根でつなげたプラン。細長い中庭をロの字に囲んで、部屋と屋根のある土間が連続してめぐる。部屋といっても壁の存在は希薄。窓ガラスが壁となり入り口となって、中にいても外にいるかのよう。「キャンプ場」よろしく屋根はタープで、居室は見通しのいいテントだ。ガレージも同じく、外でも内でもない。キャンピングカーで訪れば、寝室になる。

オーナーが変わり、東京に拠点を置く設計事務所のもう一つの仕事場になったが、前オーナーと同じく、キャンピングカーで訪れては、箱の中や半屋外の土間でデスクワークや打ち合わせをしているという。食事はだいたい外で焼いたり炊いたり。「軽井沢は家の中より外の方が断然、気持ちいい」とは設計した霜島聡志さん。自身も妙高と軽井沢の二拠点暮らしをしている。「この山荘ではどちら



築30年の家に、一時は3世代9人で暮らしていたY家。建て替えに踏み切ったのは、雨漏りや結露に加え、お子さんらが家を出て「広い家はいらない」と思ったからという。「昔ながらの田の字型で、景色のいい場所はお客さんのものだったりと、使いにくいところもありました」。Y夫妻は、これらのライフスタイルに合うサイズと間取りを求めたが、どこに頼めばいいのかわからなかったという。そこで手始めに、S・H・S鳥屋野店にある「住まいNET新潟ラウンジ」を訪ねた。好きで通っていたインテリアショップに、地元工務店と建てたい人をつなぐ場所があると知り、とりあえず相談してみようとアポイントを入れた。そこで伝

先祖から受け継いだ樹齢百年の木々を梁として使った古民家風の住まい。全館冷暖房を組み合わせてY家の未来を心地よく紡ぐ。

えたのは「木を使った古民家のような家を建てたい」ということ。ただ、紹介された会社では予算が折り合わず、次にパンフレットでも気になっていた松尾工務店を訪れた。「宮島さんは、漠然とした私たちの話をよく聞いてくれて、自分たちでも掘めていなかった要望を引き出してくれました」。また「できる」「できない」の二択ではなく、ゼロベースで考えてくれる感じにも好感を持ったという。結局、二人はこの1回目の面談で「ほかに行かなくていい」と気持ちを固めた。

当のY家は三百年以上続く旧家。建て替えば、代々受け継がれた思い、土地の歴史をも引き継ぐ作業になった。

右頁／リビングには、圧倒的な迫力を放つ梁。床に張った無垢のタガヤサンや、オリジナルで製作した建具と溶け合う。一角には小上がりの和室、掃き出し窓の外にはデッキがある 左頁／田園風景の中に建つ一軒家。鬱蒼としていた屋敷林を取り払い、新たに庭を設けた。屋根のあるデッキからは、遠くまで視線が抜け、景色が見渡せる

03

EXAMPLE
REPORT

株式会社松尾工務店

五泉市 Y邸

木造軸組工法

工期150日

フルプラン

歴史と想いを引き継ぐ
古民家風の住まい



自然、景色、心地よさ。「何でもある」雪国の暮らし

道路に沿って低く長く、木の壁が続く。雪深い土地に木の平屋。当のK夫妻もはじめは「埋もれないのかな？」と不安だったという。ただ、憧れはあった。実家が3階建てだったことから、奥さまは上り下りの大変さを知っていた。子どもたちが独立した後のことを考えても、ワンフロアは便利で無駄がないと思った。

外とのつながりや地続きの近さがあってこそ。SIAも「地面に近い方が魚沼らしく過ごせる」と明言する。庭や野で、食べたり飲んだり遊んだり。日々の暮らしの中で、季節の手ざわりや匂いなど五感で味わうこともできるうえ、平屋の低いプロポーションは自然豊かな風景にずっと馴染む。もちろん雪対策は必須で、K邸では屋根に井戸水を流す消雪パイプを設置。冬、雪が積もっても屋根と地面の雪は溶け「この長い間口の中で、雪

かきするのは車を出すところだけ」という。玄関を入ると「家族みんなの本棚」が出迎えてくれる。文庫本に写真集に料理本、絵本にレコード。ぎっしりと並ぶ中には、ご主人が好きなアーティストの写真も飾られ、家族の「好き」が伝わってくる。気分に合わせて「冊、リビングのソファに行けば、穏やかな読書時間。ご主人が淹れるチャイを片手に、時に田んぼや電車も眺めながら過ごせば、とてつもなく豊かだ。

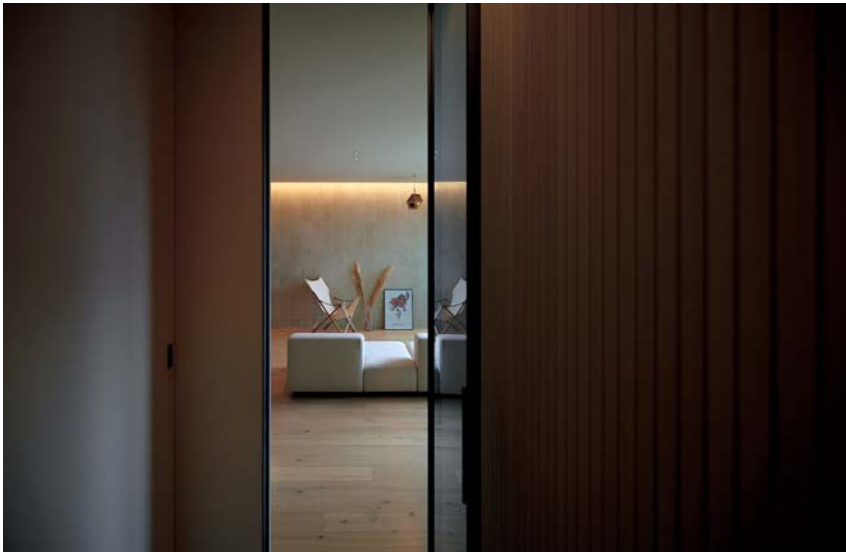
夫妻が、日常風景を教えてくれた。「田んぼのすぐ先を電車が通るんですが、子どもたちは今でも飽きずに手を振っています」と奥さま。ご主人は「雪が降っているのをただ見ているだけでいい。意外でしたが、ここでは何でもできる」。モノも施設も少ないが、何でも楽しめる、何でも遊びになると。「外から来た僕らだから分かるいいところを、もっと見つけていきたい」。K家の「魚沼な暮らし。」は第二章目が始まっている。



「気持ちのいい方向に向かって開く」のが「魚沼な暮らし。」の設計の流儀。K邸では南西に向かって大きく開いた。電車も通るこの景色がK家の日常。ダイニングスペースでは、使い込んだテーブルや椅子がパーケット貼りの床にしっかりと馴染んでいる

Data

敷地面積／230.98㎡(69.87坪)
延床面積／168.09㎡(50.84坪)
1階面積／110.96㎡(33.56坪)
2階面積／57.13㎡(17.28坪)
工 法／SE構法(重量木骨の家)
基 礎／SE構法基礎
断 熱 材／ダブル断熱(ウッドファイバー)
屋 根 材／ガルバリウム銅板
外 装 材／透湿モルタル塗装
内 装 材／EP塗装仕上げ
床 材／複合フローリング
開 口 部／LIXIL 高性能窓TW
キ ャ ッ チ ン／LIXIL、食洗機：ミレー
バスルーム／LIXIL
そ の 他／耐震等級3(許容応力度計算)
竣 工 年 月／2024年5月
家 族 構 成／夫婦+両親



Builder

roomz
株式会社星野建築事務所
〒950-0948 新潟市中央区女池南3-5-1
TEL 025-281-1599 FAX 025-281-1598

13

資料請求番号

資料請求をしていただいた方先着30名様にクオ・カード500円分をプレゼント。※詳細は249ページをご覧ください。

上／システムキッチンにカウンターを造作。濃いグレー系のタイルを曲面にも貼って。壁際にはブラック系で造作した収納棚があり、上には同系色の調理道具を 中右／敷地に沿って設けられた三角形のテラス 中左／玄関ホールの壁面にはリブ板を貼って。一体化していて分からないが、一部、洗面スペースへと続く扉にもなっている 下／玄関ホールのガラス扉からリビングを見る。タイルの壁の前にシンプルなフォルムのソファ

上／スチールで手すりを造作した階段。タモのステップや手すりのフォルムがインテリアの意匠となっている。エレガントなペンダントライトは真鍮製、その奥の12面体のスピーカーは木製。正面のガラス戸の奥は玄関ホールがある 下／さまざまな質感、形が穏やかなベージュのトーンで溶け合っている中、スチールの手すりやキッチンカウンターのタイルがアクセントに



右頁／2階ではバルコニーに沿ってLDKが伸びる。SE構法により柱のない開放感あふれる大空間が可能に。モダンな雰囲気放つ階段脇のパーテーションは、パターンを図面から起こして製作 左頁／玄関前の中庭は吹き抜けとなり、植栽が枝葉を2階にまで伸ばしている。余白のような空間が、住宅街の家にゆったりとした雰囲気を生んでいる



外とつながる開放感の中
プライベートに浸る暮らしを
SE構法により開放感を
設計力によりプライバシーを
確保したモデルハウス。住宅街にあつて
余白と贅のある暮らしを提案している。

Welcome to
Model House

モデルハウスへようこそ

15

長岡市大島新町モデルハウス
ディテールホーム／坂井建設株式会社

開放感の中、プライベートに浸る設計。
細部にまで息づく
クラフトマンシップが上質さの鍵

日常と離れた、贅のある時間を求めて進化してきた暮らしを、もう一歩先に進めたら―。そんなコンセプトで生まれたのがこのモデルハウスだ。SENSES&SCENES[®]。五感(センス)に響く上質な暮らしの場面(シーン)が磨き上げられ、二つになっている。

設計の起点は、インナーガレージと中庭だったという。車から降りると、トンネルの先の中庭。導かれるように中庭へ歩みを進めれば、いつの間にか室内に至り、光と風の中。ソファに座ると、視線は大開口を介して外へ、吹き抜けやスケルトン階段で垂直に水平へと抜ける。大きな開放感の中、プライベートに浸れるのは、外からの視線がカットされているからだ。「プライベート感と広がり」の両立はハイエンドな空間の大前提。それを可能にしているのがクラフトマンシップです」。大島隆一郎社長は、モデルに込めたもう一つのテーマを口にした。

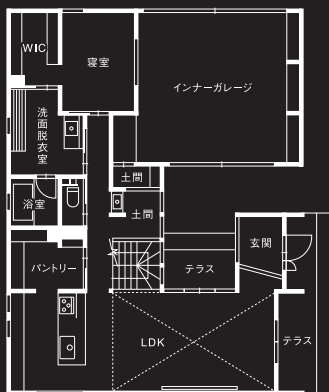
職人の卓越した技術、クラフトマンシップは随所に込められている。スケルトン階段や間仕切りを兼ねたシエルフ、壁と一体化した隠し扉など、洗練の空気を落とし込んだ造作。新たに取り扱いを始めた福岡の家具ブランド。何より、創業以来75年にわたって積み上げ、受け継いできた自社大工の技。「手仕事の良さ、時間をかけてこそ生まれる魅力」を、暮らしの中の「パーツ」として楽しんでもらいたい」。設計の工夫、新しいアイデアを詰め込んだディテールの数々があつてこそ、ラグジュアリーな時間が生まれる。それを未来へと保証するのは、採用したプレミアムグレード断熱工法(SW工法)だ。高い断熱性能と制震性能が、省エネで安心な暮らしをも叶える。

広がりや高さ、視線の抜けが生む開放感、間接照明による奥行き、暮らしやすい動線。目で見ただけでは分からない、立体で感じてこそ伝わる上質さの形を、このモデルで確かめてみてほしい。

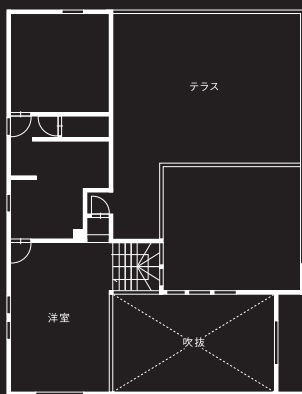
Welcome to
Model House

18

Layout



1F



2F

木造2階建(3LDK)

敷地面積/198.37㎡(60.02坪)

建築面積/97.18㎡(29.40坪)

1階面積/88.48㎡(26.77坪)

2階面積/37.68㎡(11.40坪)

延床面積/126.16㎡(38.17坪)

インナーガレージ/33.95㎡(10.25坪)

耐震等級/3

断熱性能/HEAT20 G2



上/2階ホールの左手にはオリジナルで製作したブラインドシェルフ。子ども部屋としても使えるフリースペースの仕切りを兼ねている。中/キッチンに壁付けとカウンターを並列させたII型。奥には大容量のパントリーがあり冷蔵庫も収納可能。下右/玄関ホールは大きなフィックス窓でテラスや中庭とつながる。下左/吹き抜けを貫くスケルトン階段。フロアを機能的につなぎながら、垂直にも水平にも視線が抜けることで贅のある雰囲気を生み出している。

L字型に巡る大開口によって、大きな開放感を得られる吹き抜けのリビング。スケルトン階段や格子のパーテーションによって視線は水平方向にも抜ける。ダイニングテーブルやチェア、ソファは、国際家具見本市ミラノサローネの受賞層がある福岡の家具ブランド「リッツウェル」のもの。新たに取り扱いを始めた。



貫禄の梁が走る天井高のリビング。つながるキッチン、アイランド型を中心に木調の下がり天井やオープン収納が、暮らしの中に非日常の空気を持ち込んでいる。夜になれば、間接照明によって雰囲気のある陰影が生まれる。

デザイン住宅を求めたHさんは、知り合いから聞いて、吉川建築のオープンハウスを訪れた。「実は、どんな家を建てているか知らなかったんですが、いい意味でイメージが変わりました」。理想のデザインを実現してもらえるという確信を得て依頼へ。完成した時には、同社の強みでもある「造作」の数々によって、想像以上の仕上がりに引き上げられていたという。キッチンで

「工務店にしかできないこと」を極めた家づくり。家族に向き合い、自社大工による丁寧な施工と提案で、満足のクオリティを実現する。

は下がり天井、ライティングレールにダウンライト、壁にはオープンシェルフ。ほかにマグネットボードなど一般にはオプションとされるプラスαが予算内で配された。「自社大工がいるからこそ可能。しかも常に均一の品質でお渡しすることができ」。こう話す吉川雄輝部長は、大手ハウスメーカーで勤務した経験がある。当初は大手の思考から棟数へのこだわりがあったが、ある日、発想を転換させた。「大手にはできないこと、つまり工務店にしかできないことをやっていこう」。逆転の発想で、高品質を前提にあえて棟数を絞ることに振り切った。年間10棟。限定するからこそ1棟1棟にじっくりと向き合い、家族の思いを形にできる。

右頁／勾配天井の開放感の中、梁がダイナミックに走るリビング。掃き出し窓や高窓から差し込む陽光によって、空間は隅々まで明るく心地よい。手前にはフラットにつながる畳のスペース、奥にはキッチンが仕切りなくつながる。左頁／リビングの中にあるアイランドキッチンが家具のように空間に溶け込み、家族との会話も弾む

17

BUILDER
REPORT

Yoshikawa architecture
有限会社吉川建築

H邸

新潟市秋葉区
木造軸組工法
工期150日
フリープラン

プラスαの提案豊かに、
デザインと高性能を両立

右頁／ひとつながりになったLDK。床には素足に心地いい無垢材を採用 左頁・上右／キッチンに立つと、リビングやその先の庭まで視線がまっすぐ抜ける 上左／引き違い窓の外、縁側には格子戸。開ければ外はすぐそこ 下右／縁側には階段を付けて。腰掛けたり、広々とデッキのようにも使える 下左上／2階にある子ども部屋 下左下／洗面スペースと脱衣所を分けて設置。外で遊んだ後は、縁側からお風呂に直行できる

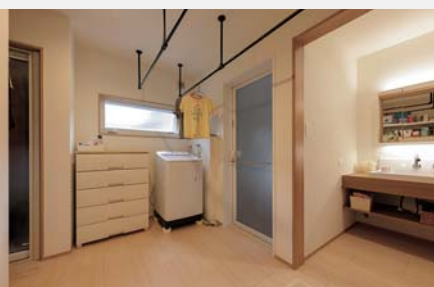
21

BUILDER
REPORT

グリーンスタイル
ダイエープロビス株式会社

S邸

佐渡市
木造軸組工法
工期180日
フリープラン



佐渡での暮らしはいつも
自然とともに、風の中で

Builder

グリーンスタイル
ダイエープロビス株式会社

〒940-0016 長岡市宝4-2-25
フリーダイヤル 0120-952-135
FAX 0258-24-0303

21

資料請求番号



資料請求をしていただいた方先着30名様にクオ・カード
500円分をプレゼント。※詳細は249ページをご覧ください。

その向こうの田園から風が吹き、めぐる。縁側は、いわば第二のダイニングスペースだ。早朝、縁側でコーヒーを飲んで一日のスイッチを入れるというご主人。「朝食は鶏を見ながらここで」と奥さま。新鮮な卵を使った料理も並ぶ風の中の食卓。夫妻が言う「最高の朝食」が暮らしを彩る。

2階ホールと子ども部屋を繋げた16帖のスペースは子ども達が駆け回れる遊びのスペース。こちよい風を取り込み山々の緑を望む窓と、たくさん絵本が並ぶ本棚。家の中でものびのびと遊びながら自然を感じられる設計だ。

ご主人の生まれ育った佐渡へ移住するにあたり、S夫妻は、島での明確なライフスタイルを描いていた。「自然の中で子どもたちが育てたい」「素足で子どもたちが駆け回れて、のんびり過ごせる家がいい」。ビルダーを探し始めた際に見学した、グリーンスタイル新潟モデルハウスをいいなと感じたそう。佐渡での建築実績のある同社とS夫妻が話し合い、家のテーマを「風の家」と設定。まず、できるだけ風を取り入れるため、窓は大開口できる引き違いに。要望された縁側は、外側に格子戸と階段を提案。完成したLDKは現し梁の下、仕切りなくつながり、窓を大きく開け放てば、鶏のいる庭から、

佐渡の山の中に建つ一軒家。
「自然と暮らしたい」という要望に
大開口と縁側、
風を取り入れる設計で応えた。



特集

まなびのかたち

教室という箱におさまっていた学びが
外へ飛び出し始めている。
自然の中へ、街の中へ。
あるいは遊びと一緒にあったり
新しいツールとともに拡大したり。
「学び」というカテゴリーに収まらない
かたちを訪ねた。

キーワードは余白、隙間、間。

まなびは、スライムみたいに自由に形を変えている。

撮影 村井 勇



右頁／もともとあった窪地を渡るように、地形を生かして設計された。遠くから見ると、建物にふわりと軽やかに下りるかのような屋根。細い直線といい硬い素材を裏切るかの造形。設計は安藤忠雄さん
左頁・上／ホール内の受付。RCがアールを描く
下／ホール内からは大きく下るRCの屋根とデッキの間に緑のオープンスペースや森が見える



自然学校の拠点は
谷を渡る橋の上。

日本一の縁側とともに

小さな谷のような窪地に、橋をかけたような建物。二本の円柱の上、一枚の平板が大きく渡る。深い庇のように、先の尖った帽子のように、屋根が大きく覆い被さる。遠目に見ると屋根も左右に伸びる平板も、重力から解き放たれて軽やかだ。

自然学校「あてま森と水辺の教室ポボラ」の拠点として、自然体験をする場所としてつくられた。活動のフィールドは510haもの敷地すべて。ホテルやコテージ、ゴルフ場のあるリゾート施設「あてま高原リゾートベルナティオ」の敷地だが、そのほとんどはグリーンフィールドであり森、水辺もある自然のミニチュアだ。

室内は、ガラスに挟まれて、自然に親しむ体験ができる。自然の森を眺めながら、自然をすぐそこに感じながら、工作をしたり木の遊具で遊んだり。特に工作コーナーに面した窓は大きく壁のように連なり、森の中に潜っていくよう。あるいはガラス板が水槽と重なり、水生植物に囲まれているようにも思えてくる。このガラス、実は開け放つことも可能で、オープンにすれば北にある森か

ら南のグリーンスペースへと風が吹き渡るのだという。そしてその途中に、風の中に、東西に伸びるあのデッキがある。

「日本一の縁側を」と意図されたという。深いRCの屋根の下、まっすぐ伸びる姿は人が出たり入ったり、子どもが遊んだり。常に人が行き交い、留まるかつての縁側の風景を立ち上らせる。谷を渡る橋は架け橋だ。場をつなぎ風を渡らせ、人と自然を結ぶ。

住まいづくりは、「千人鮮色」 あなただけのカラーを 一緒にカタチにしませんか

高田清之介

一級建築士。人は想いの内に住まう。打合せのプロセス自体が住まいそのものという信念で、お客様の要望以上の感動あるデザイン提案を大切にしている。



06

株式会社高田建築事務所

EXAMPLE
REPORT
PAGE 082

〔長岡本社〕〒940-1105 長岡市摂田屋5-6-22
TEL 0258-36-1230 FAX 0258-35-8185
〔新潟営業所〕〒950-0948 新潟市中央区女池南3-5-15
TEL 025-284-4700 FAX 025-284-4646
〔リフォーム研究所〕〒950-0941 新潟市中央区女池6-2-25
TEL 025-282-7011 FAX 025-282-7684

代表者／高田清之介 創業／1976年 資本金／9,000万円 従業員／70名

事業内容／建築、企画、設計、施工、住宅建築、各種建築
福祉医療施設関連、リフォーム

取組工法／木造軸組工法、RC造、鉄骨造、SE構法、混構造、他各種工法

有資格者／一級建築士 10名、二級建築士 22名

一級建築施工管理技士 1名、二級建築施工管理技士 2名

宅地建物取引士 2名

免許番号／建設業許可 新潟県知事(特・5)第16730号

一級建築士事務所 新潟県知事(口)第5322号

宅地建物取引業 新潟県知事(8)第3591号

加盟瑕疵保険／株式会社日本住宅保証検査機構(JIO)

取扱い坪単価 ※仕様や設備により異なりますので、お問い合わせください。

～60万円未満	～70万円未満	～80万円未満
～90万円未満	～100万円未満	100万円以上

取り扱いエリア

全 県	下 越	中 越	上 越
-----	-----	-----	-----

住宅性能

長期優良住宅対応	ZEH対応
----------	-------

構造計算

全棟実施	要望により	非対応	標準耐震等級
			2 3



<https://www.takada-arc.com>



資料請求番号 06



要望に沿ったさまざまな「シンプル」。 そのベースには際を攻める施工

中野 岳

1976年、新潟生まれ。一級建築士。12年間の設計事務所勤務を経て2011年に独立、2015年に株式会社へ組織変更。住宅や店舗の設計・施工・監理のほか、オリジナル家具のデザイン・製作も行う。



05

株式会社アーキトライブ

EXAMPLE
REPORT
PAGE 076

〒950-0813 新潟市東区大形本町5-19-23
TEL 025-288-6694 FAX 025-288-6695

代表者／中野岳 創業／2011年 資本金／300万円 従業員／1名

事業内容／住宅・店舗の設計・施工・監理、リフォーム、リノベーション
オリジナル家具・オーダーキッチンのデザイン・製作

取組工法／木造軸組工法、木造金物工法、S造工法

有資格者／一級建築士 1名

免許番号／建設業許可 新潟県知事(般・7)第43935号

一級建築士事務所 新潟県知事(ハ)第5076号

加盟瑕疵保険／株式会社ハウスジメン

取扱い坪単価 ※仕様や設備により異なりますので、お問い合わせください。

～60万円未満	～70万円未満	～80万円未満
～90万円未満	～100万円未満	100万円以上

取り扱いエリア

全 県	下 越	中 越	上 越
-----	-----	-----	-----

住宅性能

長期優良住宅対応	ZEH対応
----------	-------

構造計算

全棟実施	要望により	非対応	標準耐震等級
			2 3



<https://www.architribe.jp>



資料請求番号 05

ものの
生まれる
ところへ

SOD Design
椅子のギャラリー

撮影／渡邊久男

ユーモラスに
時空を翔ける
ラタンの椅子

体を預けると
ゆるやかにしなり、寄り添ってくれる。
ラタンと呼ばれるつる植物、籐で作られた椅子だ。
名作椅子でも知られるラタンが
モダンでユーモラスな意匠を纏って
再び空間に、住まいに帰ってきた。



Yチェアとの出会いで
デザインの道へ。
「ラタンにもう一度、光を」

軽くて丈夫、強くしなやか。ラタンとも呼ばれる籐の家具は、東南アジアに原産する植物から生まれている。皮付きの丸籐はフレームに、皮を剥いだ中身や皮を帯状に割いたものは編み込みや座面に。素材や手作りの素朴さと、体をしなやかに包み込むテクスチャーが魅力だ。20代でラタン家具のメーカーに勤め、椅子のデザインをしていた高橋智志さんは今、再びラタンの世界に戻ってきた。

椅子のデザインに目覚めたのは50年ほど前、デザイン学校に通っていた頃のこと。デパートで催されていた展示会で衝撃を受けたという。「見たことがない美しさだと思った」。現在でも人気の高いYチェアである。360度どこから見ても完璧。高橋さんは椅子のデザインを志し、ラタン家具のメーカーへ。ただその後は椅子から離れ、30年ほどは空間デザインの仕事を中心にしていた。

再び、の思いは、ラタンを取り巻く環境の変化もあったという。60年代には名作家具が生まれ、40年ほど前は日本でも大流行したが、その後、安価なイメージが付いた。「もう一度、ラタンの魅力を発信したい」。手始めに、高橋さんは羊をモチーフにした椅子を作った。名前はいくらりん。モダンとユーモアが共存する新しいラタンの表情を見せている。

右頁／新発田市にある蔵春閣の二階大広間に
高橋さんがデザインしたラタンの椅子、ラブ
チェアC-3560L。和洋が溶け合う明治時代の
瀟洒な空間に、エレガントなフォルムが似合う
左頁／末年の高橋さんがデザインした「くらり
ん」。羊の角を模した意匠が、空間に愛嬌を添える